

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 3月 15日
研究・研修課題名	口腔機能管理シミュレータ（マナボット®）を使用した口腔ケア研修
研究・研修組織名（所属）	歯科口腔外科
研究・研修責任者名（所属）	松田悠平
共同研究・研修実施者名（所属）	管野 貴浩、服部 政義 島根大学医学部歯科口腔外科学講座

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果（研修会）
該当者名(所属)	歯科口腔外科
学会名(会期・場所、認定名等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緩和ケアセミナー（8月31日・島根大学医学部附属病院） 2. 感染対策セミナー（9月23日・島根大学医学部看護棟） 3. 出雲市歯科衛生士会交流会（10月14日・出雲市保健所） 4. 島根大学がん医療従事者研修会（10月19日・島根大学医学部附属病院） 5. ちょっと気になる健康講座（10月25日・島根大学医学部附属病院） 6. 血糖値の下がる歯の磨き方（11月16日・島根大学医学部附属病院） 7. 中国四国口腔癌研究会（11月22日・島根大学医学部附属病院） 8. 在宅医療を考える市民の集い（1月26日・島根大学医学部附属病院） 9. 地域医療支援病院研修会（3月3日・島根県立中央病院） 10. 歯科衛生士応援セミナー（3月10日・島根県歯科医師会）
演題名・認証交付先等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「お口から支える緩和ケア」 2. 「感染対策と口腔ケアの関連性について」 3. 患者の気持ちを歯科衛生士の臨床に活かすには？ 【最新の PRO(patient reported outcome)研究をまじえて】 4. 各種がん治療と口腔ケア 5. 今話題のオーラルフレイルって？ 6. 血糖値の下がる歯の磨き方 7. 患者の気持ちを口腔癌治療に活かすには？-最新の QOL 研究をまじえて- 8. お口の健康！今日からできる口腔ケア！ 9. 「周術期口腔機能管理について」 10. 大学での口腔ケアの実際（動画）と今後の展望～術後管理を中心に～
取得日・認定期間等	

目的及び方法、成果の内容

①目的

がん治療における口腔有害事象には、主に口腔粘膜炎や菌性感染症などがある。口腔有害事象の増悪は経口摂取の中止や全身の感染症へつながることから、適切な口腔機能管理（口腔ケア）によって治療の完遂率向上に寄与できるとされている。現在、当院の歯科口腔外科では、周術期口腔機能管理という名目で、がん患者の口腔ケアを実施している。しかし、院内の歯科衛生士は5名と限られているため、全てのがん患者に対して切れ目のな

い口腔ケアを実施することは難しい現状にある。つまり、毎日の継続した口腔ケアを実施するには、看護師や言語聴覚士などの多職種が協力してケアを行う必要がある。また、院内全体で口腔ケアの質を向上するためには、口腔ケアの知識を与えるのみでは不十分であり、実際の手技を練習し、院内で均てん化した口腔ケア方法を共有することが重要である。

そこで本研修は、実際の手技が練習可能な口腔機能管理シミュレータ（マナボット®）を使用した多職種参加型の口腔ケア研修会を実施し、職員の医療技術の向上を推進することで、院内の口腔ケアの質を向上することを目的に実施する。

②方法

今年度中に、院内において看護師、言語聴覚士などを対象とした口腔機能管理シミュレータを使用した口腔ケア研修会を2回以上開催する。研修会の内容は、口腔ケアに関する知識をスライドで説明することと、口腔機能管理シミュレータ（マナボット®）を用いた手技の練習を行う2部構成とする。また、シミュレータは繰り返し使用でき、健康者やがん患者、ICUでの口腔ケアなど様々なシチュエーションを想定した使用が可能のため、すでに申請者が演者として請け負っている勉強会「島根大学がん医療従事者研修会」「ちょっと気になる健康講座」「誰でも参加できる糖尿病教室」などでも使用する。

③成果

今年度は合計10回の研修会にて、口腔機能管理（口腔ケア）の重要性についてシミュレータを活用して講演を行った。

講演内容	詳細
緩和ケアセミナー（8月31日・島根大学医学部附属病院）	主に院内の看護師を対象として、緩和ケア領域における口腔ケアの重要性と実際の手技について講演を行った。
感染対策セミナー（9月23日・島根大学医学部看護棟）	院内外のインфекションコントロールチーム関係者に対して、感染対策としての口腔ケアと口腔ケア施工時の感染防御に関する講演を行った。
出雲市歯科衛生士会交流会（10月14日・出雲市保健所）	院内外の歯科衛生士に対して、患者の視点に立った口腔ケアについて講演を行った。
島根大学がん医療従事者研修会（10月19日・島根大学医学部附属病院）	院内外の医療関係者を対象に、各種がん治療と口腔ケアについて講演を行った。
ちょっと気になる健康講座（10月25日・島根大学医学部附属病院）	院内の医療関係者および一般市民を対象として、オーラルフレイルと口腔ケアに関する講演を行った。
血糖値の下がる歯の磨き方（11月16日・島根大学医学部附属病院）	院内外の医療関係者および一般市民を対象として、糖尿病と口腔ケアの関係性について講演を行った。
中国四国口腔癌研究会（11月22日・島根大学医学部附属病院）	院内外の医療関係者を対象として、口腔癌治療における口腔ケアについて講演を行った。
在宅医療を考える市民の集い（1月26日・島根大学医学部附属病院）	一般市民を対象として、お口の健康と今日からできる口腔ケアをテーマに講演を行った。
地域医療支援病院研修会（3月3日・島根県立中央病院）	院内外の歯科衛生士を対象として、周術期における口腔ケアに関する講演を行った。
歯科衛生士応援セミナー（3月10日・島根県歯科医師会）	院内外の歯科衛生士を対象として、周術期における口腔ケアに関する講演を行った。

以上の研修より、次の3つが成果として得られた。

- シミュレータを用いた研修会を行うことで、実際的な口腔ケア技術を多職種が学ぶ機会を提供できた。
- 本研修を実施し口腔ケア技術を向上することで、医療の質の向上につながったと考えられる。
- 周術期口腔機能管理の保健点数としての病院収益のみならず、入院期間の短縮化、効率化といった形でも病院収益の向上に貢献できた。

また、今回の研修を通して歯科口腔外科のみならず院内での口腔ケアに関する重要性の認識が高まったことで、次の2つの将来的な成果が期待されている。

- 歯科口腔外科と麻酔科が協働し「口腔ケアセンター」の設立に向けて現在活動しており、2019年4

月には当センターが本格稼働する予定である。

2. クリニカルスキルアップセンターと連携し、今回の助成金にて購入した口腔機能管理シミュレータを使用した口腔ケアのスキルアップコース設立に向けて動いている。



緩和ケア研修会における講演の様子



感染対策セミナーにおける講演の様子



地域医療支援病院研修会における講演の様子